

## 地域で支える公共交通勉強会（岩崎地区）

2011年5月25日 18:30~20:00 岩崎地区交流センター

いわてNPO-NETサポートより「地域公共交通の現状」、北上市政策企画課より「北上市における地域公共交通の考え方」について説明があり、その後意見交換が行われました。

### ■地域公共交通の現状

#### （いわてNPO-NETサポート）

##### 1. 乗合タクシーの状況

平成20年4月から平成23年3月までの利用者数の推移を見ると、初めはお試し券を配布していたから利用者は多かったが、だんだんと減ってきている。今年の2月には116人の利用があったが、その内横川目の利用者は6人。町内と町外の利用が半々である。

##### 2. 路線バス横川目の状況

横川目線は年間で11人万の利用があり、市内で1番乗車数が多い路線。通勤・通学での利用が5割ほど。

##### 3. 路線バス煤孫線の状況

平成18年度から平成21年度の推移を見ると減少傾向である。主な利用目的は通院と買い物。

1日2往復の中で横川目から煤孫までは1便当たり1人から2人が利用。岩崎、鬼柳から人が増え、さくら野近辺で降りている。

##### 4. 路線バス夏油温泉線の状況

平成21年度に利用者が減少。3分の1が観光、あとは買い物や通院。瀬見温泉スタートで少しずつ人が増えていって、さくら野近辺で降りていく。夏油温泉線は年間1万人ほどの利用である。

### ■北上市における地域公共交通の考え方

#### （北上市政策企画課）

##### 1. 全国的な公共交通の現状

1970年辺りから減少。マイカーが普及し利便性がよくなり、路線バスの利用が減った。北上市でも口内で見られる様に、様々な取り組みをしているが、全国的な事例も多い。その中で北上市では平成21年度に公共交通をどのように取り組んでいくかビジョンをまとめ、幹線の取り組み、地域の取り組み、利用促進という3本の柱で目標を立てた。

##### 2. 地域の役割

地域で新しいことをしたいという時に様々な運行モードがある。その運行モードによって地域の役割が変わってくる。路線バスは利用により地域に貢献。乗合タクシーは利用だけでなく、企画・運営の決定にも参加。一番大変なのは、利用、企画・運営、運行全部地域でやる口内の過疎地有償運送。今後の視点に地域の役割も入れていかなければならない。

##### 3. 運行開始に必要な期間

路線が短縮され、新しく乗合タクシーなどを運行する場合は、運行開始2か月前までに運輸局に申請しなければならない。事前の1か月前には地域の方、事業所、運輸局で公共交通会議を開き合意を得る必要が

ある。口内では約1年間協議に時間を費やした。

#### 4. 北上市における支線交通の運営体制

運営は自治協議会が主体だが、市も支援や調整をしていく。またアドバイザーによるアドバイスもしていただく。

#### 5. 検討開始の手続き

自治協議会からの申し出があればすぐにも検討開始出来る。専門部会のような組織を立ち上げての検討もOK。検討の開始時期は年度当初にこだわらないので、地域の準備ができ次第、すぐに検討に入れる。

### ■まとめ

#### 路線バスの今後の見通しと対応策

・「乗合タクシーの改善」or「新交通」の導入により地域の足を確保

#### 企画～運営～運行～利用促進の「主体」の考え方

・運行モードの違いにより、地域の役割もさまざま

#### 支線交通支援について～地域マネジメントの視点～

・方向性を選択するのは地域  
・他地区に先駆けて市はモデル的に支援を実施

### ■意見交換

○煤孫線はいくらくらい補助しているのか。

→年150万円補助している。

○地元が動かないとダメなのか。

→あくまでも主体は地域。相談をしながら実施していきたい。

○地域を見捨てるのか。

→今後はバスを残すのではなく、日常の移動の足を残したい。煤孫線の利用状況を見ると、10人乗っている事はほとんどない。乗合タクシーだと家の近くまで行けバスよりも段差が低い。今の需要はバスではない。転換してより利便性が高いものを考えている。

○地域公共交通会議の構成はどうなっているのか

→交通事業者も入っている。生活機能の確保と産業の調整。

○法人格は必要か。

→地縁組織で可。

○地域で考えた交通は市街地まで行けるのか。

→地域交通会議での合意が必要。結論が決まっているわけではない。

○交通事業者も経営努力をすべきだ。

→北上市としても地域の意向をフォローする

○乗合タクシーが町内までの理由はなにか。

→バス、タクシーの事業者との調整

○来年4月に向けてはどのようなスケジュールなのか。

→3か月前までには方法を確定

○既存で循環バスなどはあるのか。

→買い物バス等はある。

○夏油温泉線は観光の視点も必要である。

→観光路線として重要。見直しの必要性もある。

